

業界イメージレポート －ドライバー編－

業界イメージレポート—ドライバー編—とは

「業界イメージレポート」は、特定の業界に対してもっているイメージについて、個人側と企業側に調査した結果をまとめています。本レポートは中でも、物品を配送するドライバーやタクシー・バスのドライバーを対象としたものです。

個人側は4セグメントに分かれます。現在就業している「A. 就業者」、過去に就業経験がある「B. 離職者」、ドライバー業界の就業経験はないが就業に興味関心はある「C. 意向者」、ドライバー業界の就業経験がなく就業に興味関心もない「D. 非意向者」です。企業側は店長以上の役職の方を対象としています。

ドライバー業界全体に共通する魅力、もっと高められる魅力を理解する手がかりとしてご活用ください。

【目次】

回答者プロフィール	2
A. 就業者と企業側	3
正社員と正社員以外	5
B. 離職者と企業側	7
C. 意向者とD. 非意向者	9

調査概要

- ・調査名：特定業種に関する調査
- ・調査目的：求人と求職の需給ギャップがある特定業種における、労働者側と企業側双方の実態を把握し、今後解決策を模索する上での基礎資料とすること。
- ・調査方法：インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用）
- ・調査期間：2015年3月25日（水）～3月29日（日）
- ・調査対象：20～59歳までの男女（全国）
 - 個人側
 - －現在、対象業種に従事している人
 - －過去に対象業種に従事したことがある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がない人
 - 企業側
 - －現在、対象業種に勤務しており、職位が管理職（店長）・経営層、かつ人事（採用）または総務業務を担当している人

セグメントごとの回答者数は下の表のとおり。本レポートの対象はドライバー業界の、計924人。

		個人側				企業側
		就業経験者		就業非経験者		
		A. 就業者	B. 離職者	C. 意向者	D. 非意向者	
飲食店	ファーストフード	102	368	200	200	30
	居酒屋	118	337	200	200	37
介護サービス		188	186	200	200	142
ドライバー		195	188	200	200	141

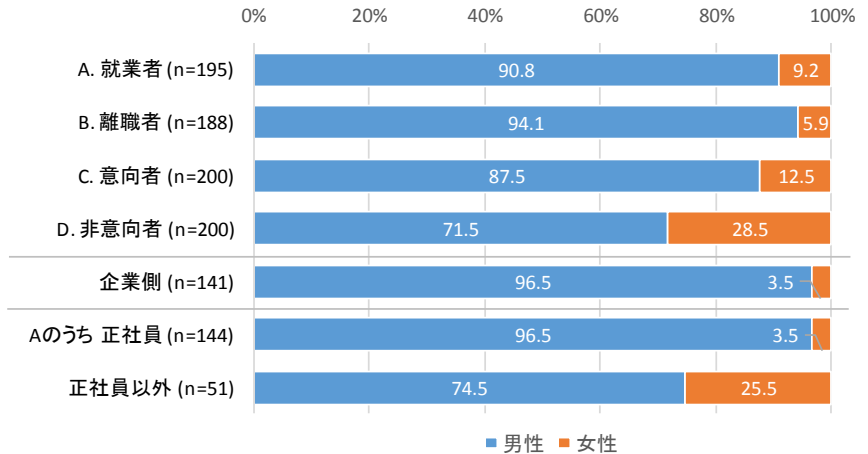
※ なお、四捨五入の関係で数表内の%の合計が100とならない場合がある。

回答者プロフィール

■ 性別

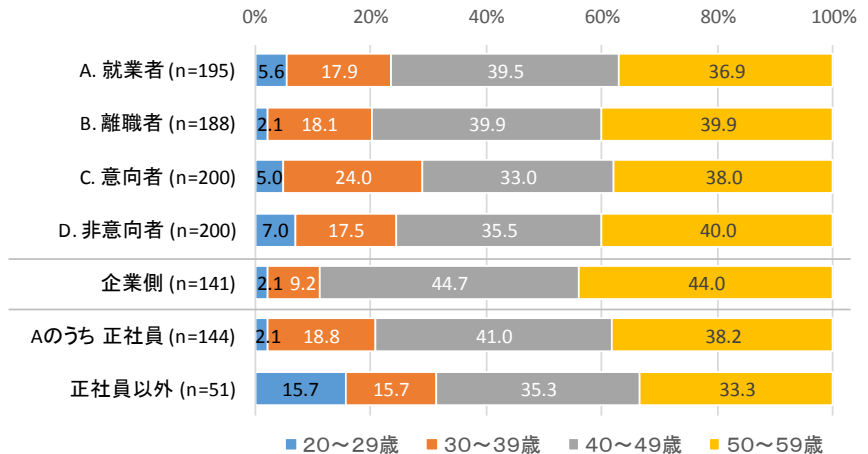
回答者の性別分布は、右のグラフのとおり。いずれのセグメントでも男性の比率が高く、7割以上を占めている。A. 就業者、B. 離職者、企業側、Aのうち正社員※では、9割以上が男性となっている。

※自営業者等を少数含む。「正社員以外」はパート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。



■ 年齢

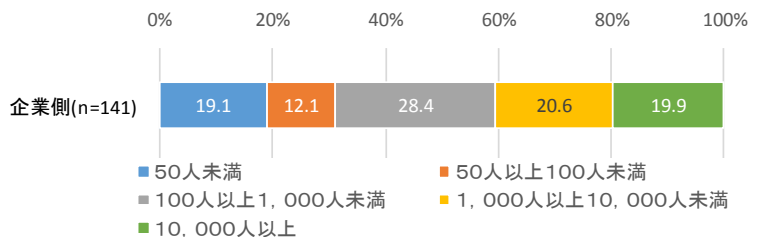
回答者の年齢分布は、右のグラフのとおり。いずれのセグメントでも40～49歳と50～59歳が同程度で多くなっている。企業側は役職者ということもあり40代以上の割合が高く、就業者、特に正社員以外は20代・30代が比較的多い。



■ 従業員規模 (企業側)

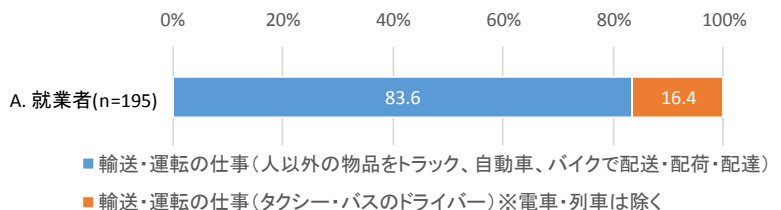
企業側の勤務先従業員規模は、右のグラフのとおり。

10,000人以上が19.9%、1,000人以上10,000人未満が20.6%と、大規模な企業が多い。



■ 現在の仕事の分野 (A. 就業者)

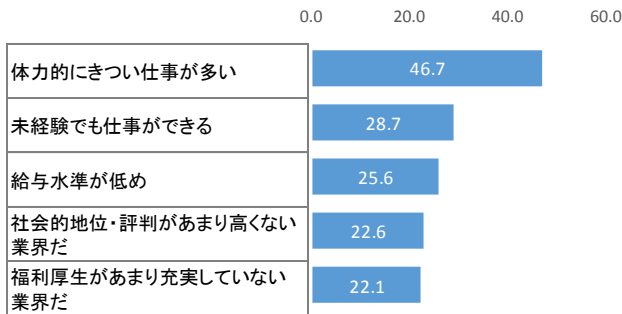
「人以外の物品をトラック、自動車、バイクで配送・配荷・配達」が83.6%、「タクシー・バスのドライバー」が16.4%。



業界イメージ 1 A. 就業者と企業側

A. 就業者の上位5項目

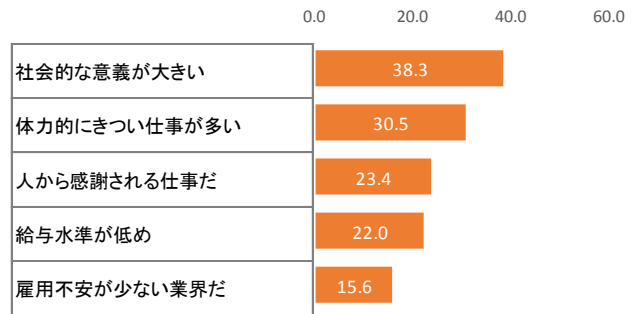
就業者の約半数が「体力的にきつい仕事が多い」というイメージをもっており、もっとも多い。2位は「未経験でも仕事ができる」だが、以下は「給与水準が低め」など、ネガティブなイメージが上位となっている。



(%, n=195)

企業側の上位5項目

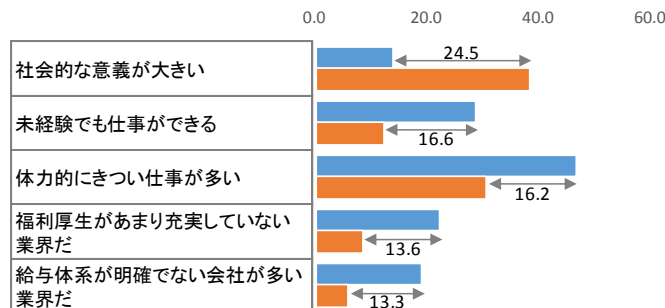
企業側の多くは、「社会的な意義が大きい」「人から感謝される仕事だ」など、ポジティブなイメージをもっている。「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」は就業者の上位項目と一致している。



(%, n=141)

A. 就業者と企業側のギャップが大きい5項目

企業側は「社会的な意義が大きい」イメージをもっているが、就業者はあまりもっておらず、ギャップがもっとも大きい。「未経験でも仕事ができる」などの項目は、就業者の方がイメージをもっている。

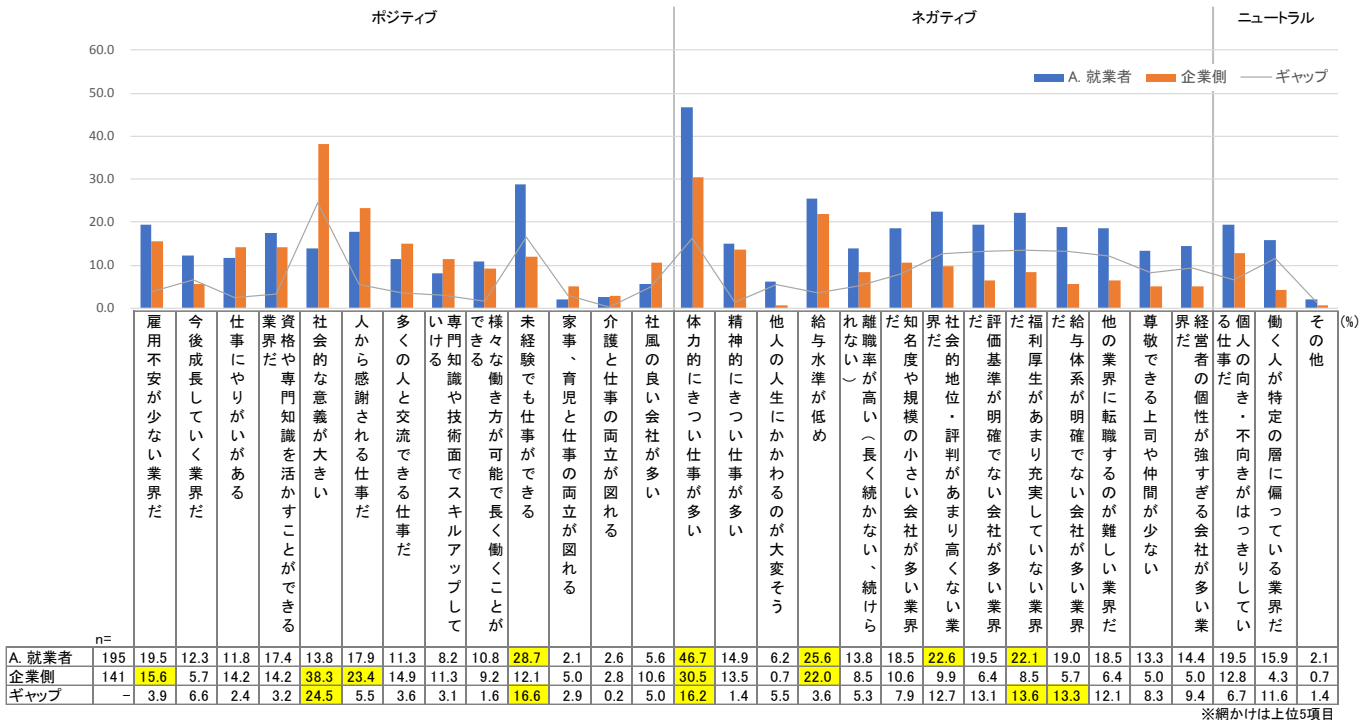


■ A. 就業者 ■ 企業側 (%)

A. 就業者と企業側

【A. 就業者】 Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／輸送・
 運転の仕事（物品を配送するドライバー）（MA）

【企業側】 Q. あなたがお勤めの会社や、お勤めの業界のイメージとして、世の中の人や求職者に、どのよう
 に思われていると思いますか。あてはまると思われるものをお選びください。（MA）



ドライバー業界についてどのようなイメージをもっているか、現在ドライバーとして働いている就業者と、ドライバー業界の企業側に聞いた。

就業者は「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」「社会的地位・評判があまり高くない業界だ」「福利厚生があまり充実していない業界だ」など、ネガティブなイメージについてあてはまると答えた割合が高い。ポジティブなイメージでは、「未経験でも仕事ができる」が上位となっている。

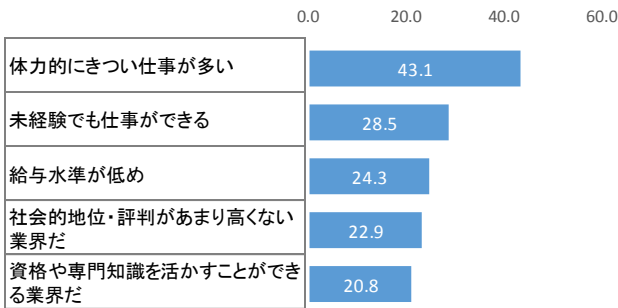
企業側は「社会的な意義が大きい」「人から感謝される仕事だ」など、仕事の意義ややりがいがあると考えている。

「体力的にきつい仕事が多い」については、企業側も30.5%があてはまると回答しているものの、それでも就業者46.7%とのギャップが大きい。ネガティブなイメージはすべて、就業者の方があてはまると答えており、おしなべてギャップも大きい。

業界イメージ 2 正社員と正社員以外 (A. 就業者)

正社員の上位5項目

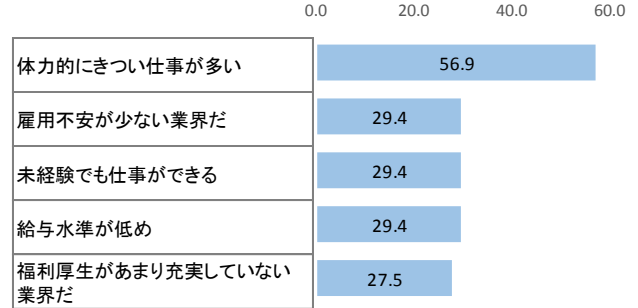
就業者のうち正社員がもっているイメージは、「体力的にきつい仕事が多い」「未経験でも仕事ができる」「資格や専門知識を活かすことができる業界だ」という点で、ポジティブなイメージをもっている。



(%, n=195)

正社員以外の上位5項目

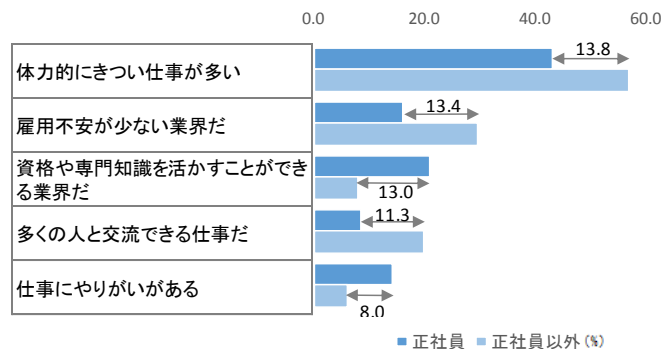
正社員以外でも、「体力的にきつい仕事が多い」がもっとも多いのは、正社員と共通している。「雇用不安が少ない業界だ」「未経験でも仕事ができる」という点で、ポジティブなイメージをもっている。



(%, n=195)

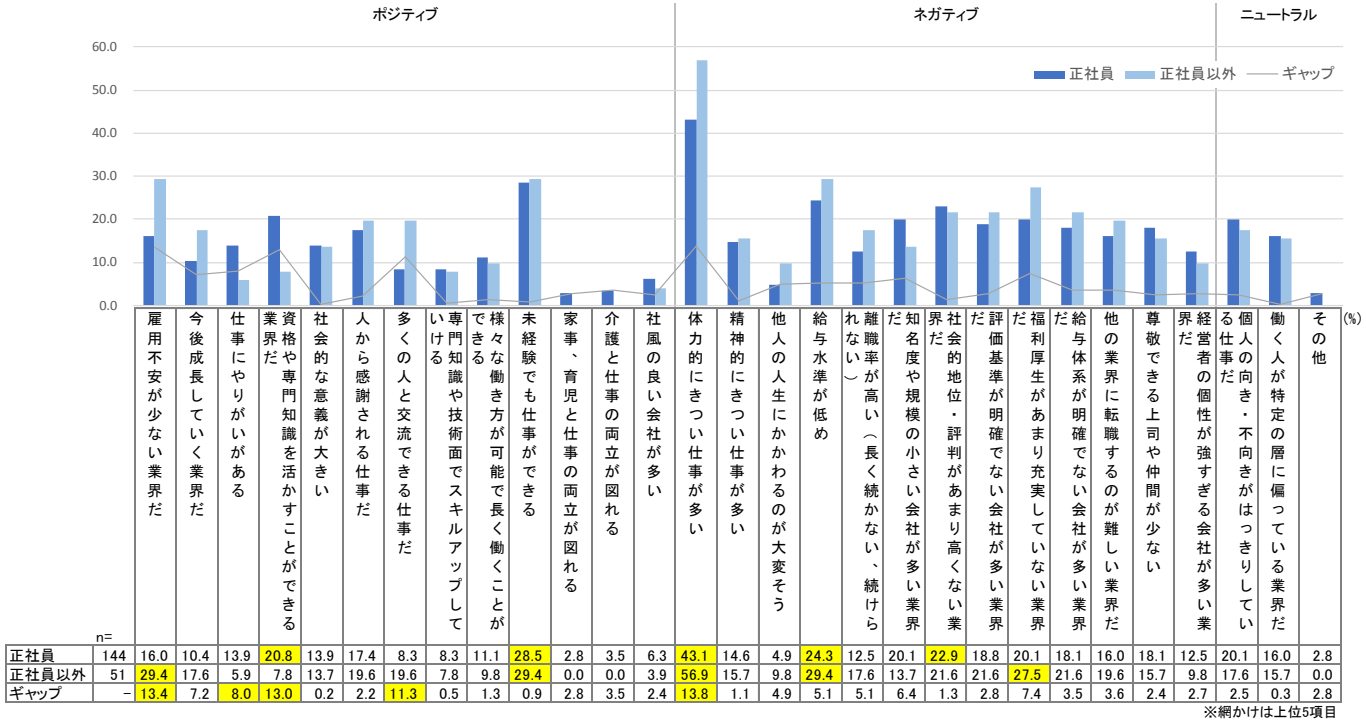
正社員と正社員以外のギャップが大きい5項目

正社員と正社員以外では、業界イメージにそれほど大きなギャップはない。「体力的にきつい仕事が多い」「雇用不安が少ない業界だ」などのイメージは、正社員以外の方がもっている。



正社員と正社員以外（A. 就業者）

【A. 就業者】 Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／輸送・
 運転の仕事（物品を配送するドライバー）（MA）



ドライバー業界についてどのようなイメージをもっているか、現在ドライバーとして働いている就業者の中で、正社員※と正社員以外に分けて見てみる。（※自営業者等を少数含む。「正社員以外」はパート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。）

どちらも、もっとも多いのは「体力的にきつい仕事が多い」である。「未経験でも仕事ができる」「給与水準が低め」という認識も、正社員と正社員以外で共通している。

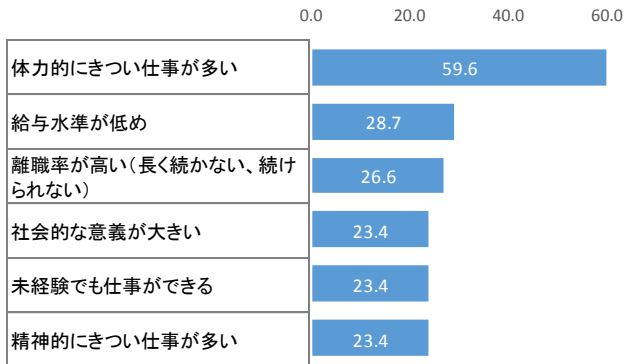
正社員は「社会的地位・評判があまり高くない業界だ」といった点でネガティブに考えているが、「資格や専門知識を活かすことができる業界だ」というポジティブなイメージも上位になっている。また、「仕事にやりがいがある」の割合も、正社員以外に比べると高い。

正社員以外は「雇用不安が少ない業界だ」「多くの人と交流できる仕事だ」といった点では、正社員よりポジティブなイメージをもっている。

業界イメージ 3 B. 離職者と企業側

B. 離職者の上位5項目

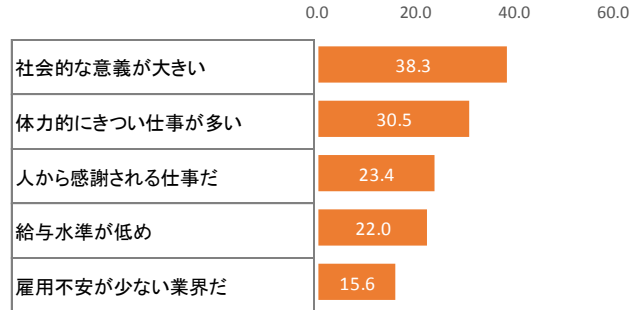
離職者がもつイメージは「体力的にきつい仕事が多い」が約6割でもっとも多い。「社会的な意義が大きい」「未経験でも仕事ができる」などの点で、ポジティブなイメージをもっている。



(%, n=188)

企業側の上位5項目

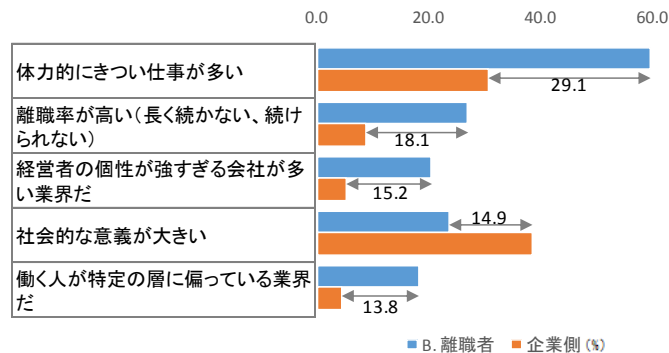
「社会的な意義が大きい」「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」は、離職者の上位項目と一致している。「人から感謝される仕事だ」「雇用不安が少ない業界だ」という点でポジティブなイメージをもっている。



(%, n=141)

B. 離職者と企業側のギャップが大きい5項目

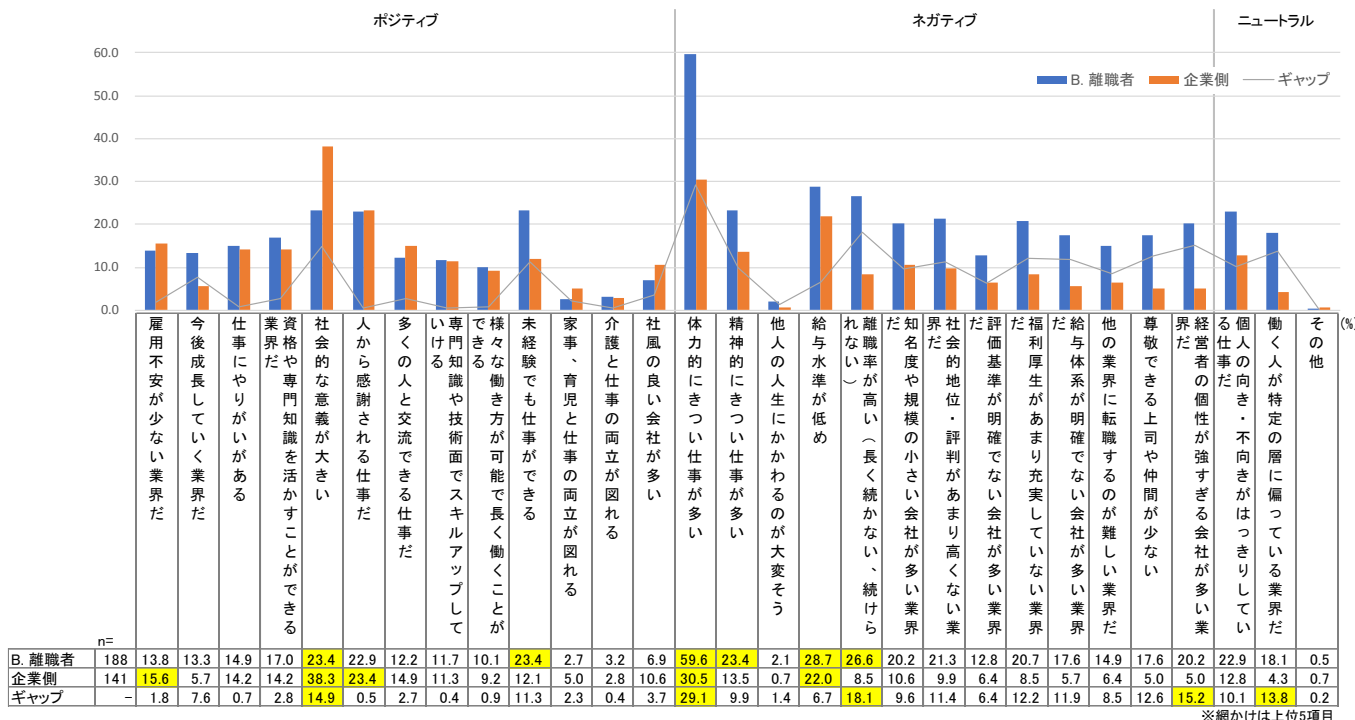
離職者の約6割は「体力的にきつい仕事が多い」というイメージをもっているが、企業側では約3割にとどまっており、もっともギャップが大きい。「離職率が高い」なども、離職者の方が多く選択している。



B. 離職者と企業側

【B. 離職者】 Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／輸送・運転の仕事（物品を配送するドライバー）（MA）

【企業側】 Q. あなたがお勤めの会社や、お勤めの業界のイメージとして、世の中の人や求職者に、どのように思われていると思いますか。あてはまると思われるものをお選びください。（MA）



ドライバー業界についてどのようなイメージをもっているか、過去にドライバーとして働いていたが離職した人と企業側に聞いた。

離職者もつイメージを見ると、「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」「未経験でも仕事ができる」が上位にあることは、現在就業者と共通している。異なる点としては、「離職率が高い」「社会的な意義が大きい」が上位になっている。

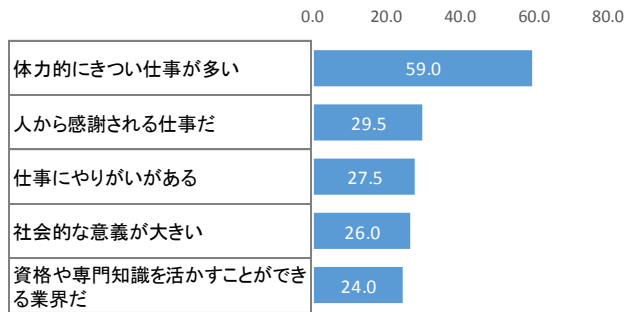
企業側と比較すると、「社会的な意義が大きい」「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」は離職者と企業側とで共通している。就業者の場合と同じく、ネガティブなイメージについてはすべて企業側より個人側の方が選択している割合が高い。「体力的にきつい仕事が多い」「離職率が高い」などはギャップが大きくなっている。

業界イメージ 4

C. 意向者とD. 非意向者

C. 意向者の上位5項目

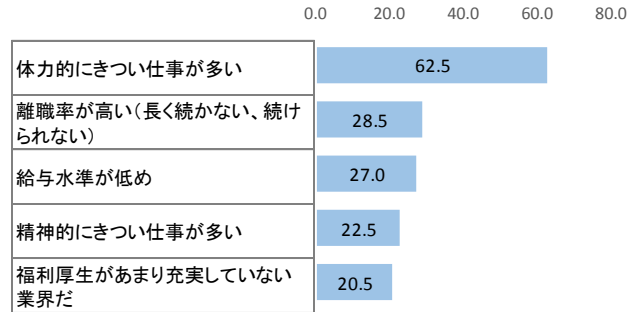
意向者の約6割が「体力的にきつい仕事が多い」というイメージを持っているものの、「人から感謝される仕事だ」「仕事にやりがいがある」など、仕事内容についてのポジティブなイメージを持っている。



(%, n=200)

D. 非意向者の上位5項目

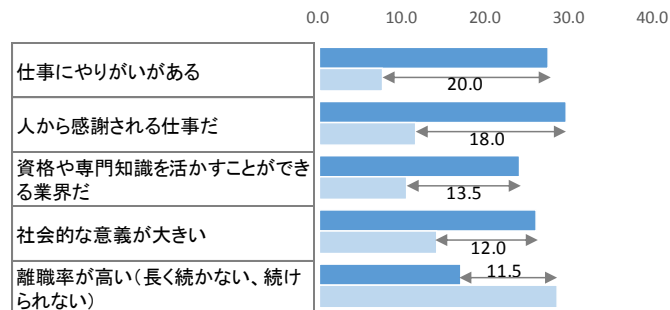
約6割が「体力的にきつい仕事が多い」というイメージを持っているのは、意向者と共通している。しかし、それ以外には「離職率が高い」「給与水準が低め」などのネガティブなイメージを強くもっている。



(%, n=200)

C. 意向者とD. 非意向者のギャップが大きい5項目

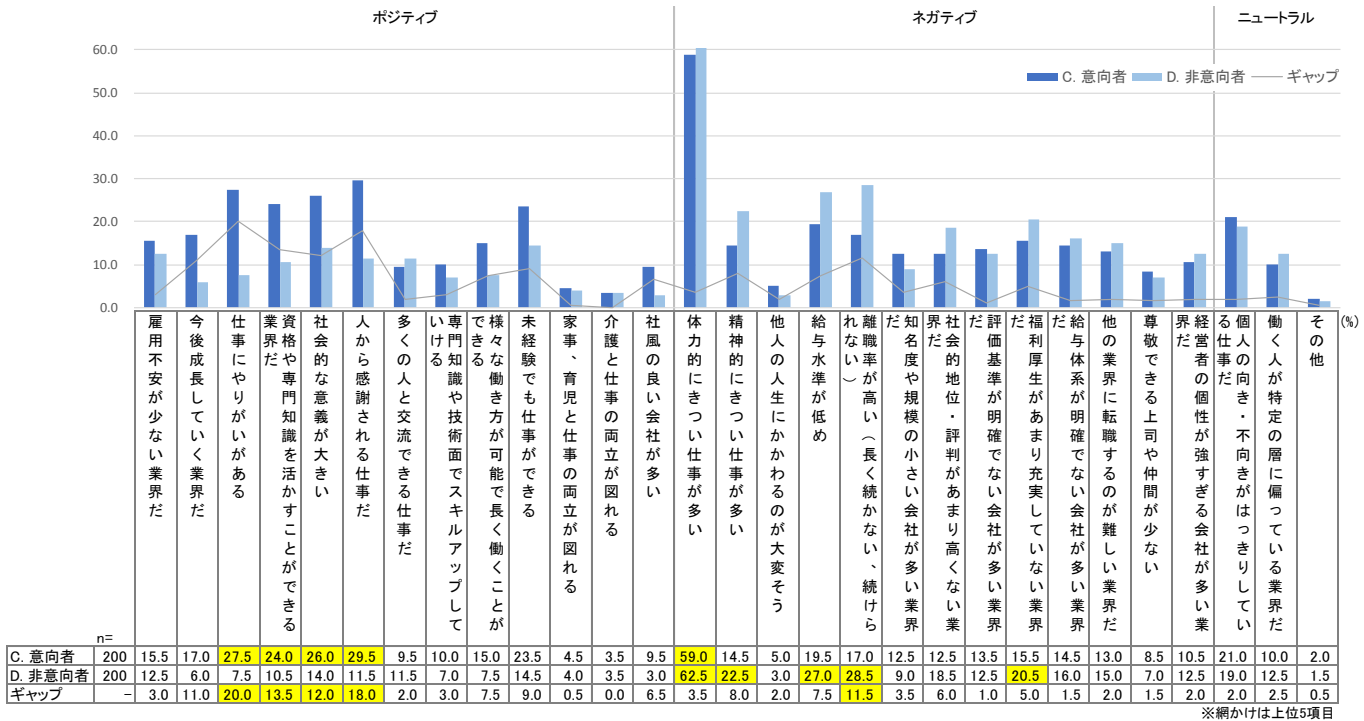
「仕事にやりがいがある」「人から感謝される仕事だ」など、意向者はもっているが非意向者はもっていないポジティブなイメージについて、両者のギャップが大きい。



■ C. 意向者 ■ D. 非意向者 (%)

C. 意向者とD. 非意向者

【C. 意向者、D. 非意向者】Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／輸送・運転の仕事（物品を配送するドライバー）（MA）



※網かけは上位5項目

ドライバーとして働いてみたい気持ちをもっている意向者と、働きたくないという非意向者に、ドライバー業界のイメージを聞いた。「体力的にきつい仕事が多い」がもっとも多い点は共通している。それ以外には、意向者はポジティブな、非意向者はネガティブなイメージについて、多く選択している。

意向者は「人から感謝される仕事だ」「仕事にやりがいがある」「社会的な意義が大きい」「資格や専門知識を活かすことができる業界だ」という、仕事内容についてポジティブなイメージが上位になっている。

非意向者は「離職率が高い」「給与水準が低め」「精神的にきつい仕事が多い」「福利厚生があまり充実していない業界だ」など、待遇や仕事内容についてのネガティブなイメージが上位になっている。

特にギャップが大きいのはポジティブなもので、ポジティブなイメージをどれだけもっているかが、意向者と非意向者を分けているのかもしれない。